「原発震災から子供たちを守れ」
2011年4月13日(水)@衆議院第二議員会館

阪上武(福島老朽原発を考える会代表)

放射能測定プロジェクト

原発震災復興・福島会議による小学校放射能測定結果と福島県への要請

調査場所			測定値(cpm)
市町村	調査校	測定ポイント	
福島市	A	グランド	3,100
		芝生	3,000
		側溝(U字溝)	13,000
		遊具の下の地面	2,600
		池	500
	B	遊具の下の地面	1,000
		池	1,100
	C	グランド	1,100
		芝生	3,000
		側溝(ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ)	2,300
		遊具の下の地面	3,900

調査場所			測定値(cpm)
市町村	調査校	測定ポイント	
川俣町	D	グランド	1,400
	E	グランド	2,400
		側溝(U字溝)	8,000
	F	遊具の下の地面	2,400
		グランド	1,800
	G	グランド	1,500

2011年3月31日

福島県知事
福島県教育委員会　様

原発震災復興・福島会議
中手聖一

福島県内小学校校庭の放射線量「地表面サンプリング調査」のご報告

（略）私たちは福島の未来を担う子供たちのため、当該調査を緊急に行いました。結論から申しますと、子供たちの安全・安心を確保するためには、学校特に校庭の放射能汚染状況および地域・区域における放射性物質の移動状況について、緊急に調査をして対策をとることが必要であることが分かりましたので、取り急ぎご報告いたします。

私たちが感じている以上に早く、子供たちの環境に放射能汚染による危険区域が形成されつつあると考えられます。各市町村がこの汚染の影響を考慮できずに、始業式を急ぐことは取り返しのつかない過ちにつながりかねません。

報告書の内容を早急にご検討され、各市町村へ御指導いただきたく、よろしくお願いいたします。

福島県の対応

県教委、学校再開で放射線量安全基準提示を国に要請
＜4月3日福島民報＞

…新学期の開始を前に、県教委は2日までに学校を再開する際の安全な放射線量の基準、屋外での学習活動の注意点などを示すよう国に要請した。

…県教委の要請では大気中の放射線量が一定を超えた場合の学校現場の対応、登下校時の適切な服装、部活動や屋外で授業をする際の注意点などを明示するよう求めた。また、学校単位でのモニタリング実施の必要性の有無も要望しており、必要があれば線量測定器を配備する考えだ。

福島県：放射線量、全小中校で測定へ
＜毎日新聞4月4日＞

…福島県は5日から3日間、県内1428の小中学校の校庭などで、大気中の放射線量を測定する。6日から一部学校で始業式があることから、保護者の不安を解消することが目的で、県災害対策本部は「学校生活の再開へ向けて具体的数値を示したい」としている。

一方で新学期は予定どおり始まり、子どもたちはマスクをして登校をはじめた。福島老朽原発を考える会及び県内市民団体は連名で県に対し、新学期の延期を改めて要請した

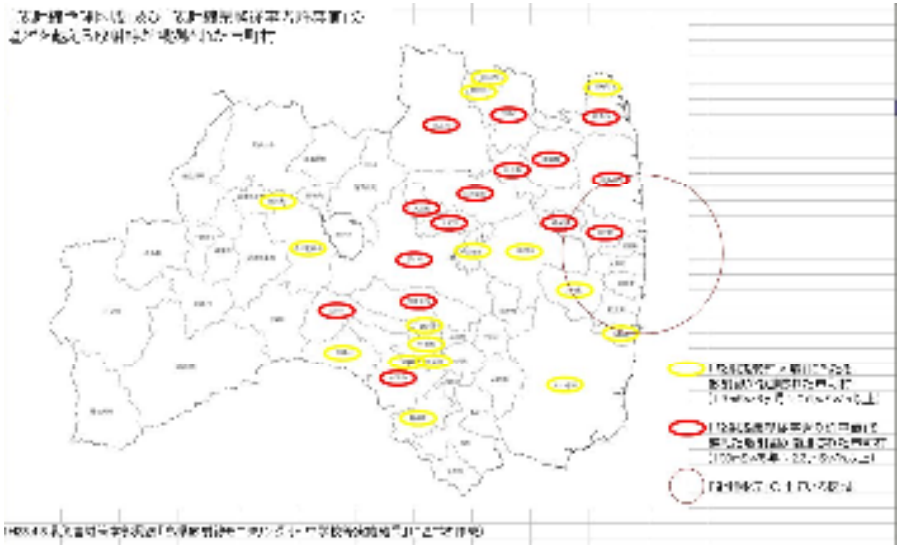
福島県教育委員会御中

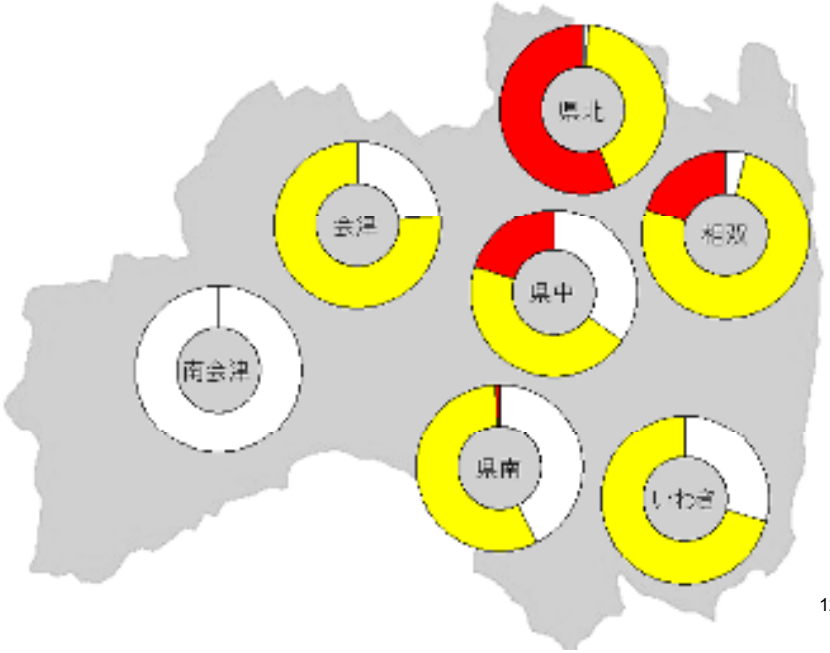
原発震災復興・福島会議
脱原発福島ネットワーク
みどりの未来・ふくしま
福島原発30キロ圏ひとの会
福島老朽原発を考える会

福島原発30キロ圏外周辺の学校の新学期開始の延期を求める緊急要請書

（略）文部科学省は3月25日付通達により、各県教育委員会に対し、新学期の実施時期を含め、柔軟に対応するように指示しました。しかし貴職は入学式や始業式を予定通り実施するとの姿勢を変えておらず、都内の大学で新学期開始の延期が実現していながら、最もそうした措置が求められる30キロ圏外周辺の小中高校ではこれが実現しないという状況にあります。文部科学省の通達に従い、新学期の開始を延期するよう改めて要請いたします。（略）

福島県の測定結果





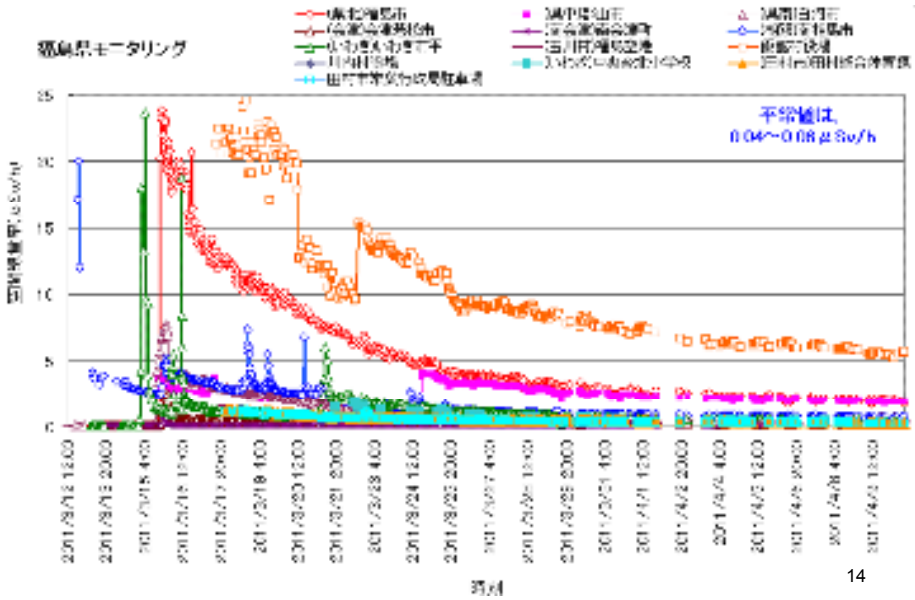
・75.9%の学校で「管理区域」基準（3ヶ月1.3mSv）を超える放射線を観測

・20.4%の学校等では、「個別被ばく管理」が必要となりうる放射線を観測

・県北・相双で高い放射線量率が観測された割合が高く、96～99%の学校で「管理区域」基準を超え、特に福島市を含む県北では調査対象校等の56.5%で「個別被ばく管理」が必要な水準

・県中・県南・会津・いわきでは、58～76%が「管理区域」基準を越えている。中でも郡山市を含む県中では20%の学校が「個別被ばく管理」が必要な放射線を観測

・南会津では「管理区域」基準を超えたものは0校であった。



土壌・水の測定結果

Results											
Reference date		31/03/2011			31/03/2011			31/03/2011			31/03/2011
Unit		Bq/m^2			Bq/m^2			Bq/m^2			Bq/m^2
ARTIFICIALS RADIONUCLIDES											
Zr-95 / Nb-95	64 days	INQ			INQ			INQ			INQ
Te-132 / I-132	3.2 jours	111,960	±	15,660	166,920	±	19,620	196,640	±	24,120	382,120	±	44,270
I-131	8 jours	824,150	±	99,620	1,178,520	±	102,480	1,163,120	±	101,840	1,887,300	±	163,100
Cs-134	2.1 ans	211,480	±	24,880	339,160	±	29,280	479,720	±	40,200	922,680	±	76,890
Cs-136	13.2 jours		<	622	24,888	±	2,684	37,520	±	3,484	68,968	±	6,524
Cs-137	30 ans	211,480	±	24,880	339,160	±	29,280	479,720	±	40,200	922,680	±	76,890
Ba-140 / La-140	12.7 jours	8,397	±	4,665	21,176	±	3,172	22,244	±	5,360	35,416	±	6,058

わたしたちの要請

・子どもたちが、成人と比べても放射線に対する影響が大きいことから、新学期の延期を改めて要請する

・学校単位の「学童疎開」について、各自治体が実施の検討を行うこと。国が予算面等で支援すること